

1 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 評価の観点と内容

評価項目	知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価方法	授業への取り組み、作文・レポート・鑑賞文等の作品、定期テスト、単元テスト、小テスト(漢字・文法)	

3 学習の手引き

使用教材	教科書:国語・書写(光村図書) 副教材:国語の学習、漢字の学習、学習の達成
学校では…	① 授業の準備をしっかりとしましょう。(忘れ物がないように。) ② 仲間の意見をよく聞き、新しい気づきがあったり、考えが深まる1時間にしましょう。 ③ ノートは「授業内容」だけでなく、「予習・復習」でも活用しましょう。ノートは必ず、縦書きにしましょう。 ④ 漢字テストは1週間に1回行います。出題範囲の漢字をしっかりと確認しておきましょう。 ⑤ 単元テストや定期テストにあわせて、ワークなどを用いて学びの調整を行いましょう。
家庭では…	① 語句・意味調べ、漢字の読み書き、本読みなどを行いましょう。 ② ワークやスタディサプリなどを活用し、教材の理解を進めましょう。

4 年間計画

月	教材名	目標・評価の観点など
4 月	見えないだけ	【知・技】詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由とともにまとめている。 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
4 月	アイスプラネット	【知・技】登場人物どうしの関係や人物像を図式化して整理している。 【思・判・表】ぐうちゃんの人物像や、登場人物どうしの関係を文章から読み取り、図にまとめている。 【態】登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
4 月	漢字に親しもう1	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
4 月	意見を聞き、整理して検討する	【知・技】意見と根拠を区別して捉え、適切な根拠の在り方について理解を深めている。 【思・判・表】発言者の立場を踏まえ、それぞれの意見と根拠を整理して考えをまとめている。 【態】進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。
4 月	文法への扉1 単語をどう分ける？ 文法1 自立語	【知・技】自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。 【態】学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
5 月	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	【知・技】相手が自ら行動したいと思えるような言葉や表現を用いることを意識している。 【思・判・表】重要なことが効果的に伝わるように話の構成を工夫している。プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。 【態】自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
5 月	枕草子 自分流「枕草子」を書こう	【知・技】古典の文章独特の調子やリズムを意識して音読している。現代語訳や語注を手がかりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。 【思・判・表】作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。季節感を表すものについて、その様子が具体的に想像できるよう、語句や表現を選んで書いている。 【態】文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
5 月	クマゼミ増加の原因を探る	【知・技】文章を構成する六つの部分の関係を図式化して整理している。 【思・判・表】筆者の主張を捉え、それと仮説 1～3 との関係を理解している。文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。 【態】積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
6 月	情報整理のレッスン 思考の視覚化	【知・技】問題 1～3 に取り組み、情報と情報との関係を図で表している。 【態】積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。
6 月	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう2	【知・技】熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6 月	短歌に親しむ 【書く】短歌の創作教室 短歌を味わう	【知・技】情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。 【思・判・表】複数の短歌を比較し、歌われた情景や心情、表現とその効果について考えている。好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。 【態】表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
6 月	言葉の力	【知・技】本や文章を読み、さまざまなものの見方・考え方に触れることで、自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。 【思・判・表】言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。 【態】文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
7 月	言葉1 類義語・対義語・多義語 語彙を豊かに	【知・技】類義語・対義語・多義語の概念について、具体例を当てはめて理解している。抽象的な概念を表す語句について、類義語や対義語と比較することを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。 【態】今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。
7 月	メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる	【知・技】メディアが伝える情報の内容とその根拠の適切さに着目している。メディアの特徴を、表や図などにまとめている。 【思・判・表】メディアの特徴を踏まえ、情報の信頼性を判断するために必要なことについてまとめている。 【態】複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。
9 月	ヒューマノイド	【知・技】登場人物の言動や伏線に着目し、それらが話の展開にどのように関わっているのかを考えている。 【思・判・表】過去と現在、伏線と結末を結び付けて、登場人物の言動の意味を解釈している。

		【態】登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。
9月	字のない葉書	【知・技】随筆の味わい方について考え、日常の読書に生かせそうな点をまとめている。 【思・判・表】前半部分と後半部分の人物や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。 【態】文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
9月	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	【知・技】何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けてもらえるかを考えている。相手や目的に応じて、敬語を適切に使って書いている。 【思・判・表】自分の思いや考えが伝わるように、具体的な説明を加えたり、表現の工夫をしたりしている。 【態】自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書こうとしている。
9月	言葉2 敬語	【知・技】敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。 【態】今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。
9月	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	【知・技】どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。 【思・判・表】話の要旨や展開に注意しながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。 【態】論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。
10月	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	【知・技】文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。 【態】積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10月	モアイは語る——地球の未来	【知・技】筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを捉えるとともに、より適切な根拠の在り方を理解している。 【思・判・表】文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論理の展開を吟味している。自分の知識や体験と結び付けながら、筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめている。 【態】論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
10月	適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く	【知・技】自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。 【思・判・表】段落のまとまりを意識して、自分の意見が明確に伝わるよう文章の構成を決めたり、段落の順序を検討したりしている。根拠として適切な事実と、意見と根拠を無理なく結び付ける「理由づけ」を示し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【態】粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
10月	月夜の浜辺	【知・技】詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。 【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。
10月	音読を楽しむ 平家物語 「平家物語」の世界／ 「平家物語」の主な登場人物たち	【知・技】漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。冒頭部分の現代語訳や、「平家物語」のあらすじを読んで、「無常観」を感じ取っている。 【態】進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
11月	扇の的 ——「平家物語」から	【知・技】「平家物語」の、漢語を巧みに交えた独特の調子やリズムを意識して朗読している。与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。 【思・判・表】「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。 【態】登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
11月	仁和寺にある法師——「徒然草」から 【書く】人物の特徴を捉えて論じよう	【知・技】古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。現代語訳や語注などを手がかりにして読み、文章に表れた作者のものの見方、考え方を理解している。 【思・判・表】仁和寺の法師の描き方などを踏まえて、作者のものの見方について考えたことを話し合っている。人物像が明確に伝わるように、文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じている。 【態】積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
11月	漢詩の風景	【知・技】漢詩の構成や表現の特徴を意識して朗読している。解説の文章を手がかりにして、詩の作者の思いを想像し、古人のものの見方、考え方について考えを深めている。 【思・判・表】好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合っている。 【態】進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
11月	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	【知・技】二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。 【思・判・表】文章の構成や表現の特徴などについて、二つの文章を比較して発見したことを話し合っている。二つの文章を比較したり、書き方の特徴を捉えたりすることで、筆者が文章を書いた意図や目的についての自分の考えを深めている。 【態】進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
11月	具体と抽象	【知・技】複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。
12月	話し合いの流れを整理しよう	【知・技】意見と根拠の関係に注意して、話し合いの内容を聞き取っている。 【思・判・表】意見の内容や意見どうしの関係に気をつけて、話し合いの流れを整理している。 【態】話し合いの流れを整理するときに必要なことを進んで考え、今までの学習を生かして話し合おうとしている。

12月	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 文法2 用言の活用	【知・技】用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に用言の活用について理解しようとしている。
12月	立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる	【知・技】適切な根拠となる情報を集め、意見と根拠、理由づけを整理している。 【思・判・表】互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて質問したり反論したりし、振り返りにおいて自分の考えをまとめている。 【態】進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
12月	漢字に親しもう4	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
1月	走れメロス	【知・技】作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。 【思・判・表】メロスや王の言動に着目して、考え方や心情の変化を読み取っている。読み深めたことや、文学の読み方に関する知識・経験を生かして作品の魅力を分析し、自分の考えを広げたり深めたりしている。登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめている。 【態】登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。
1月	漢字に親しもう5	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
1月	文法への扉3 一字違いで大違い 文法3 付属語	【知・技】助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
2月	描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く	【知・技】これまでに読んだ物語や小説の表現を参考にして、場面の様子や人物の心情を表す語句を使って書いている。 【思・判・表】読み手が場面の様子や人物の心情を具体的に想像できるように、表現の効果を考えながら描写を工夫している。書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。 【態】粘り強く描写を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
2月	言葉3 話し言葉と書き言葉	【知・技】話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。 【態】今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
3月	漢字3 送り仮名	【知・技】送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3月	鍵	【知・技】詩の中で使われている言葉に着目し、語感や表現の効果を考えている。 【思・判・表】自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。 【態】詩を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。

*書写は以下の内容を取り扱います。(硬筆・毛筆)

7月 12月	点画の省略 筆順の変化 行書に調和する仮名(いろは歌) 行書と仮名の調和 楷書と行書の使い分け
-----------	---